



学校だより

福生一小ホームページ <http://fussa-le.hs.plala.or.jp/>

令和4年7月1日
7月号
福生市立福生第一小学校
校長 高瀬 智子

関わり合いを通して成長する

校長 高瀬 智子

例年になく猛暑が続いており、熱中症に気を付けながら教育活動を行っています。早いもので、1学期もあと3週間ほどとなりました。

先日の全校朝会では、6月15日が本校の開校記念日であり149年目を迎えること、長い歴史のある福生第一小学校は、これまで多くの方が学んでいること、そして、4月に立てた1学期の目標にもう1度立ち戻って、夏休みまでの1学期を過ごすことを話しました。子どもたちは、今、1学期のまとめを意識し、学習、そして、学級での係や当番、委員会などの活動等にも取り組んでいます。

さて、6月は、ふれあい月間でした。日常的な取組や指導に加え、学校生活やいじめに関するアンケートを行い、それぞれの子どもの様子を把握して、指導等を行いました。

多くの子どもたちが、同じ場、空間を共にして、互いに学び合うところが学校です。当然一人一人の考え方や感じ方は違いがあり、それに伴ったトラブルが発生することがあります。行き過ぎたことは、断じて許してはなりません。トラブルを解決していくことを通して、どのようにしていくとよいのか考え、行動することは、学び・成長する機会でもあります。そして、解決していく力を身に付けていくことは、これからの時代に求められている多様な他者と協働していく力へと結びついていきます。

トラブルを全て否定するのではなく、子どもたちが成長する機会と捉え、見守っていくことも大切です。見守るといえることは、任せきりにするというものではありません。必要なときには、時機を逸せず適切に関わっていくことが、極めて重要です。学校では、子どもたちの状況をよく見て、必要な指導等を行っています。

子どもたちの成長を支えるのは、子どもたちに関わる大人です。学校・家庭・地域の中で、子どもたちは生活し、成長しています。学校・家庭・地域の一層の協力のもと、一小の子どもたちが健やかに成長していけるようにしたいと考えております。

日光移動教室（6年）

6年生とひまわり学級6年生が、日光移動教室に行ってきました。子どもたちは、自分たちで考えた「同心協力」というスローガンを意識し、3日間を過ごしました。日光東照宮をはじめとする歴史的な建造物の見学、ハイキング、日光彫体験などを行いました。宿での生活も楽しい思い出となりました。子どもたちは、互いに協力し合い、支え合い、最高学年として大きな成長が見られました。

